

第1部 基調講演



●講師●

株式会社 日本総合研究所 調査部主席研究員 藻谷 浩介氏(もたにこうすけ)

1964年山口県生まれ。平成合併前3,200市町村の100%、海外59ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。東京大学法学部卒業後、日本開発銀行入行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所出向などを経ながら、2000年頃より地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。公職やテレビ出演多数。近著『デフレの正体』(角川oneテーマ21)、共著『里山資本主義』(角川oneテーマ21)はベストセラーとなった。

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター



農業ジャーナリスト 榊田みどり氏(さかきだみどり)

1960年秋田県生まれ。東大仏文科卒。立教大学兼任講師。学生時代から農村現場を歩き、消費者団体勤務を経て90年よりフリージャーナリスト。農業・食・環境問題をテーマに、一般誌、農業誌などで執筆。農政ジャーナリストの会幹事。日本農業賞「食の架け橋賞」審査員。共著に『安ければそれでいいのか?!』(コモンズ)『雪印100株運動』(創森社)など。2013年大阪市農業施策のあり方検討会委員を務めた。

パネリスト



株式会社 日本総合研究所 調査部主席研究員 藻谷 浩介氏(もたにこうすけ)

パネリスト



マーケティング・プロデューサー、博士(農学) 平岡 豊氏(ひらおかしげる)

大分県出身。大阪外国語大学卒業。元博報堂九州支社長代理。2004年、「農産物直売所を核とした農業・農村活性化の研究」で九州大学より博士(農学)を授与する。地域興し、農産物直売所の運営、農産物のブランド化など、幅広い分野でアドバイスをを行っている。著書に『実践型農業マーケティング』(全国農業会議所)など。2013年大阪市農業施策のあり方検討会委員を務めた。

パネリスト



特定非営利活動法人浪速魚菜の会 代表 笹井 良隆氏(ささいよしたか)

大阪市出身。NPO法人「浪速魚菜の会」代表や、大阪食文化専門誌「浮瀬」編集長を務める一方、大阪の主な割烹・料亭が集い料理研究等を行う「大阪料理会」を運営。近著に『大阪食文化大全』(西日本出版社)がある。

パネリスト



大阪府農業経営者会議 理事(市内農業者)

西野 孝仁氏(にしのだかよし)

大阪市長居公園の近くで代々続く農家。春菊を代表に、季節ごとに収穫できる多様な品種の野菜を栽培。天王寺蕪(てんのうじかぶら)など、なにわの伝統野菜作りにも力を入れている。大阪府知事が認定する「農の匠」(農業指導士)の一人。2013年大阪市農業施策のあり方検討会委員を務めた。

地下鉄中央線堺筋本町駅下車 2番出口 徒歩約5分
地下鉄堺筋線堺筋本町駅下車 12番出口 徒歩約5分

